

平成18年度 購入教材目次

No.	種 別	題 名	対 象	時間(分)	種別	制作・販売会社	用途	備考
1	フィルム	じしんだ!!ミーちゃんのぼうさいくんれん	幼児～ 小学生(低)	12	アニメ	東映	防災教育	
2		まほうのおとしあな	幼児～ 小学生	12	人形アニメ	北星	映画会	
3		おじいさんと不思議なおくりもの	幼児～ 小学生(低)	16	人形アニメ	共和教育	幼児教育 映画会	
4		長靴をはいた猫	幼児～ 小学生	24	アニメ	東映	映画会	
5		魔法の指輪	幼児～ 小学生	27	人形アニメ	東映	映画会	
6		ベルとかいじゅう王子	幼児～ 小学生	20	人形アニメ	学研	映画会	
7		百目のあずきとき	幼児～ 小学生	15	アニメ	北星	映画会	
8		ムーミン ～スナフキンが帰ってきた～	幼児～ 小学生	25	アニメ	北星	映画会	
9		ムーミン ～氷の国を抜け出せ～	幼児～ 小学生	25	アニメ	北星	映画会	
10		注文の多い料理店	小学生 ～一般	23	アニメ	フォーラム ・写楽堂	映画会	
11		字のないはがき	小学生 ～一般	18	アニメ	学研	映画会	
12		忍たま乱太郎	幼児～ 小学生	45	アニメ	中部日本教映	映画会	
13		ナイカとコウノ鳥	小学生 ～一般	20	劇画	北星	映画会	
14		カッパの三平	小学生 ～一般	90	アニメ	日活	映画会	
15	VHS	自てん車安全大作戦 ～歌おう！ぼくらの交通安全～	小学生 ～中学生	23	劇画	東映	交通安全教育	
16		ぜったい、ゆうかいされないぞ！	幼児～ 小学生	16	レポート	東映	防犯教育	
17	DVD	昭和30年代の日本・家族の生活 【都会の子どもたち編：4作品】 【都会のくらし編：5作品】 【農村のくらし編：4作品】	一般	133～ 148	劇画 記録	桜映画社	映画会	
18		昭和30年代の日本・家族の幸福 【夫婦編：3作品】 【親子編：3作品】 【家族編：3作品】	一般	144～ 154	劇画	桜映画社	映画会	

【フィルム】 1～4

じしんだ！ ミーちゃんのぼうさいくんれん	アニメ 12分
<対象> 幼児～小学生(低学年) (東映)	
ミーちゃんと大樹は大の仲良し。 ある日、部屋の片づけをしないでボール遊びをしていると、大きな地震が！大樹は散らかったオモチャにつまづいて倒れてしまいました。 あきれて見ていたボスとクマは、大樹、ミーちゃん、大樹のお父さんとお母さんを”にやんにやん地震防災ランド”へ連れて行き、地震について教育することにしました。 地震が起こったらどうすればいい？とボスに聞かれて、うまく答えられないミーちゃん。一番大事なのは命です。命を守るために、どうすればいいのかを学びます。避難するときの注意事項なども教えてもらいました。	
まほうのおとしあな	アニメ 12分
<対象> 幼児～小学生 (北星)	
愛と思いやりの心を育てる……。 お話し 岸田今日子 むかし、むかし、ふしぎな森の高い塔に、魔法使いが住んでいました。 ふもとの村に住む、歌が上手で髪の高い美しい娘「マリア」の噂は、森の魔法使いにも聞こえていました。 魔法使いは、「そうだ、この娘をわたしの後継ぎにしよう。」と、村からさらってきたマリアを塔に閉じ込めて、魔法で出入り口を消し、塔のまわりにたくさんのおとしあなをつくりました。そして、「マリア、評判の歌を聞かせておくれ。」と、毎日毎日歌わせていました。 ある日、通りかかった旅人のハンスが、一目マリアを見た途端すっかり心を奪われて、「むすめさんの友だちにしてください。」と魔法使いにお願いしました。しかし、魔法使いが人間を相手にするはずがありません…。	
おじいさんと不思議なおくりもの	アニメ 16分
<対象> 幼児～小学生(低) (共和教育)	
美しい色彩と音楽で綴られた人形劇の最高傑作です。 むかし、むかし、あるところに小さな村がありました。 寒い寒い冬の日に、その村を三人の旅人が訪れました。 三人の旅人は、大きな水車がある地主の家に泊めてもらおうとしましたが断られ、次に、この土地をおさめる領主のお城のような大きい家を訪ねたのですが、ここでも追い返されてしまいました。 三人の旅人は、お百姓さんの家へやって来ました。その家には、おじいさんと山羊が住んでいました。おじいさんはとてもやさしい人でしたので、三人の旅人をさっそく家へ入れ、温かい食事でもてなし、泊めてあげたのです。 朝になり、三人の旅人は親切なおじいさんにお礼を言い、三つの袋を残して消えてしまいました……。	
長靴をはいた猫	アニメ 24分
<対象> 幼児～小学生 (東映)	
ある日、貧しい粉ひき一家のお父さんが病気で死んでしまいました。残った三人の兄弟は、財産を分けはじめます。 一番上の息子は粉ひきの小屋。真ん中の息子は粉を運べるろば。末の息子は一匹の猫をもらいました。末の息子が途方に暮れていると、なんということでしょう。猫が人間の言葉を使ってしゃべりはじめました。「わたしに、長靴大きな袋をください！きっとあなたをしあわせにしてさしあげます」 息子はおどろいたままでしたが、この猫が賢いことは知っていたので、猫の言う通りにしました。そして長靴をはいた猫は、2本足で立って、森の中へ行ってしまいました。	

【フィルム】 5～8

魔法の指輪	人形アニメ 28分
<対象> 幼児～小学生 (東映)	
昔、イランの国に、国民から慕われた心優しい王がいました。ある日、王は部下が捕えてきた子鹿を逃がしてやるように命じ、母鹿が自らの命を顧みず、子鹿を迎えにきた姿に心打たれました。 次期国王となる一人息子は、人のことなど考えないわがままな青年に育っていました。王は息子が良い国王になるようにと神に祈りを捧げていると、不思議な緑の光が現れ、「神様の贈り物」を王に授けました。 「これは正しい判断をすると何も起こりませんが、間違った判断をするとひどい仕打ちを受けます」と不思議な言葉を残して消えました。 病気が悪くなった王は王子のことを心配しながら亡くなりました。若い国王は、父が残した不思議な箱の中から光り輝く指輪を見つけました……。	
ベルとかいじゅう王子	人形アニメ 20分
<対象> 幼児～小学生 (学研)	
森の中で道に迷った年老いた商人は、エメラルドの光に包まれ、庭の半分が夏、半分が冬、という不思議な館に入り込みます。誰もいない広いホールで、商人は窓の外に紅い花を見つけました。自分の三人の娘から頼まれたお土産が、姉二人の指輪とドレスは買えたのですが、心のやさしい末の娘ベルの欲しがった紅い花だけは、今まで見つからなくて困っていたのです。 手を伸ばし、花を折った瞬間、雷鳴がとどろき、周囲が暗転したかと思うと怪獣が現れ、商人に剣をつきつけて花を折ったことを怒りました。商人が娘に頼まれたことをつい口走ると、怪獣はその娘を連れてくるか、それとも商人の命を取るかと脅します。 家に帰らされた商人がその話をすると、ベルは自分から父の代わりに怪獣のところへ行くといいました……。	
百目のあずきとき	アニメ 15分
<対象> 幼児～小学生 (北星)	
むかし、むかし、電気のあかりもない昔のことです。 旅人がひとりで山を越えるのは、それは心細いものでした。まして、夜になれば何が飛びだすかわかりません。旅人は、ちょうちんのあかりをたよりに、おそる、おそる、夜道を歩いていました。お腹も減ってくるし、山の夜道は不安でいっぱいです。 すると、どこからともなく、ショキショキ……ショキショキ……と、あずきをとぐような音が聞こえてきました。 「はて？ あずきでもといでいるような音だが……」旅人は呼びかけてみました……。	
ムーミン ～スナフキンが帰ってきた～	アニメ 25分
<対象> 幼児～小学生 (共和教育映画社)	
ムーミンの感動が子どもたちの胸に飛んでいく。 ムーミンは、ミーのホルンがなかなか上手にならないので、自分も挑戦しているうちに、ホルンをこわしてしまいます。持ち主のヘムレンさんは、気にすることは無いといって、こわれたホルンを川にすててしまいました。 ムーミンはマキを売って、新しいホルンを返そうと森で働き始めました。するとどうでしょう。いつの間にか、マキが出来上がっていたり、おいしそうな果物があつたり、ムーミンが熱を出した時にも木の実の葉が届いたり……。それは、南国から帰って来たスナフキンのおくりものだったのです……。	

【フィルム】 9～12

ムーミン ～氷の国を抜け出せ～	アニメ 25分
<対象> 幼児～小学生 (共和教育映画社)	
やさしさを思いやりの心がいっぱいの永遠の名作メルヘンアニメ！ ムーミン谷に氷がはり、ムーミンたちはスケートに夢中です。 不思議なことが起きたのはそのときです。湖の氷がかたむき、アッというまにムーミンたちは氷の世界にひきこまれてしまったのです。おどろいたことに、そこでは氷のお妃さんが、地上にあるものをみーんな氷づめにしていたのです。こんど狙われるのはムーミンたちです！	
注文の多い料理店	アニメ 23分
<対象> 小学生一般 (フォーラム・社楽堂)	
仲の良い都会の紳士が二匹の犬を連れ猟に出かけました。 あまりにも山奥で道に迷ってしまいました。案内人ともはぐれてしまい、犬も泡をふいて死んでしまいました。お腹がすきすぎて横腹まで痛くなってきました。 そんな時、立派な一軒の西洋料理店「山猫軒」という看板が下がっているのを見つけました。二人は大喜びです。「どなたもどうかお入りください、決してご遠慮はありません」と、金文字で書いてあります。二人は戸を押して中へ入りました。その戸の裏側には「ことに肥ったお方や若いお方は大歓迎です」と書かれていたのです。二人はもう大満足です…。	
字のないはがき	アニメ 18分
<対象> 小学生～一般 (学研)	
家族の絆を温かいまなざしで描いた向田邦子の名エッセイを映画化。 終戦の年の3月、東京大空襲で私たち家族は命からがらの目にあった。父はそれまで手放さなかった幼い妹を、一家全滅するよりは、と学童疎開に出す決心をする。出発が決まった妹に、父は自分あてのあて名を書いたおびたしい葉書を渡した。「元気な日は、これにマルを書いて、毎日1枚ずつポストに入れなさい。」幼い妹は、遠足にでも行くように、はしゃいで出かけて行った。 一週間ほどで、一枚目の葉書が届いた。赤鉛筆で大きく書かれたマルに安心する家族だったが、次の日からマルは小さくなり、やがてバツに変わった。そして、ついにバツの葉書も届かなくなってしまった。 しばらくたったある日、突然手紙が届いた。それは、妹が病気になったことを知らせるものだった…。	
忍たま乱太郎	アニメ 45分
<対象> 幼児～小学生 (東映)	
忍たま3人組 乱太郎、きり丸、しんべエがスクリーンで大冒険!! わたし、乱太郎、「忍術学園」一年は組。同級生のきり丸、しんべエとは、いつも失敗ばかりしている仲良し三人組。今日は夏休みの登校日。しんべエは、しんべエパパが学園長に頼まれて輸入した硝石(黒色火薬を作るための材料)を運ぶため、クラスメイトの団蔵とのんびり、おにぎりを食べながら歩いていったんだ…。と、そのときだ。ドクタケ城の極悪非道の稗田八方斎が硝石を奪おうとおそってきた。あやうく逃れたしんべエは、へとへとになりながらも、学園にたどり着いた。しんべエの話を聞いたわたしたちは、つかまってしまった団蔵を助けるため、また奪い取られた硝石を取り戻すためにドクタケ城に向かった…。	

【フィルム】 13,14

ナイカとコウノ鳥	劇画 20分
<対象> 小学生～一般 (北星)	
赤ちゃんはコウノトリが運んでくる。ナイカ少年は、すっかりそれを信じてコウノトリをつかまえにいった。そして……。 今日は、お母さんが赤ちゃんを抱いて帰ってくる嬉しい日です。ナイカは友達にいじめられて泣きながら家に帰りましたが、お母さんはまだ帰っていません。 隣の女の子が、赤ちゃんはコウノトリが運んで来るのだから、コウノトリに頼んだらと教えてくれました。ナイカは屋根の上のコウノトリに頼もうと、いろいろ苦心しましたが、コウノトリは遠くへ飛んでいってしまいました……。	
カッパの三平	アニメ 90分
<対象> 小学生～一般 (日活)	
三平とガータロー、ふたりでひとり、ひとりでふたり。 ようこそ、とっても不思議なカッパの国へ。日本の妖怪大集合!! 三平はカッパそっくりな男の子。ひょんなことから水底の世界に迷い込み、カッパに捕まえてしまいが、自分と瓜二つのカッパ、ガータローと友達になり、カッパの国を無事逃げ出す。人間界に戻った三平は、行方不明の母ちゃんを探しに、ガータロー、いたずらたぬきの黒磨(クロマロ)、ちっちゃなミワラシ、ズッコケ死神と一緒に、恐ろしい妖怪たちの棲むという鬼首岳へ旅立つ……。 原作 水木しげる	

【VHS】 15,16

自てん車安全大作戦 ～歌おう！ぼくらの交通安全～	劇画 23分
<対象> 小学生～中学生 (東映)	
子供たちにテレビでおなじみの人気タレントが出演して、自転車を中心に交通安全の大切さと、具体的な交通安全のルールを、楽しくわかりやすく教えます。 また、大人が見ても楽しめ、交通安全における大人の役割にも気付くことが出来る要素を盛りこみました。 小学2年生の勇弥と、5年生の拓弥の兄弟。いつも喧嘩ばかりの毎日だ。2年生のクラスでは、広田先生と交通安全についての学習をすることに。5年生のクラスでは、花村先生の指導で町のくらしと安全と言うテーマでヒヤリ地図を作ることに……。	
ぜったい、ゆうかいされないぞ！	レポート 16分
<対象> 幼児～小学生 (東映)	
楽しいCGキャラクターとともに、具体的な映像を見ながら様々なケースについて学んでいきます。各項目がブロックにまとまっているので、ホームルームなどの短い時間の中でも便利に活用できます。 【わるい人ってどんな人！】 【もし連れて行かれそうになったら】 【あぶない場所ってどんな場所？】 【まとめ：地域安全マップについて】 【知らない人が話しかけてきたら？】 【知らない人がウソをついているかも】 【知らない人の車には絶対に乗らないようにしよう】	

昭和30年代の日本・家族の生活 都会の子どもたち編	劇画・記録 142分
＜対象＞ 一般 (桜映画社)	
「おやつ」(昭和30年 20分) 東京の下町。貧しいながらも自由だった子どもたち。駄菓子屋、紙芝居屋に群がる当時の子どもたちの夢や生活が生き生きと描かれている。 「お姉さんといっしょ」(昭和31年 50分) トニー谷をはじめ、芸達者な役者陣に交じり、5歳タッチャン大活躍。普遍的な家族愛が評価され、ベネチア国際映画祭でグランプリ受賞。 「赤ちゃんの意見」(昭和36年 12分) 1歳になられた浩宮さまがひとり立ちする貴重な映像をはじめ、貸しオムツや団地内の施設託児所など当時の出産から育児にまつわる話題を紹介。 「遊び場のない子どもたち」(昭和39年 37分) 遊び場を奪われた都会の子どもたち。それでも、様々な工夫をしてエネルギーに遊ぶ！今はなき東京球場に侵入したり…。解説は牟田悌三。	
昭和30年代の日本・家族の生活 都会のくらし編	劇画・記録 148分
＜対象＞ 一般 (桜映画社)	
「百人の陽気な女房たち」(昭和30年 30分) 戦後の日本は蚊やハエだらけ…。伝染病を防ぐため、ボランティアで公衆衛生改善活動が続ける主婦たちの姿。 「大都会の生活」(昭和32年 21分) 大都会の繁栄ぶりを紹介しながら、交通や住宅などの問題点も指摘する。50年前の空から見た東京の街並みもめずらしい。 「おやじの日曜日」(昭和34年 28分) 造船工場で働く父親が、休日に、妻と4人の子どもと回るユーモラスな東京見物。上野動物園、寄席…。 「昼だけの都会」(昭和36年 12分) 憧れの丸の内働くサラリーマンやBG(OL)の一日は？出勤簿に群がる出社風景、昼休みの屋上では縄跳びや…。 「猫の散歩」(昭和37年 26分) ノラ猫の目が見た都市のゴミ問題。本物のノラ猫の演技はお見事！ 監修：山本嘉次郎、猫の声をサザエさんのカツオ役の高橋和枝が！	
昭和30年代の日本・家族の生活 農村のくらし編	劇画・記録 133分
＜対象＞ 一般 (桜映画社)	
「おふくろのバス旅行」(昭和32年 22分) 家長しか団体旅行に参加しなかった当時の農村。家族が何でも話し合い暮らせるようになればと、青年たちが両親そろってのバス旅行を計画。 「おばあちゃんあやまる」(昭和33年 30分) 年間600万人もの赤痢菌保菌者がいた当時。農家の嫁姑が、家族に赤痢患者が出たことで変化していくホームドラマ。 「おやじ」(昭和34年 18分) 家族には笑顔ひとつ見せない農家のおやじ。貧しい中で親として子どもたちに出来る限りのことを…と実はいつも考えているのだ。 「刈千切り唄」(昭和34年 43分) 「刈千切り唄」で有名な天孫降臨伝説の他、宮崎県日向、高千穂地方の焼田農業など山地農民のたくましい生活と、神楽伝承の映像など。	

昭和30年代の日本・家族の幸福 夫婦編	劇画・記録 146分
＜対象＞ 一般 (桜映画社)	
「今どきの嫁」47分 昭和31年(1956年) 戦前の家族制度がまだ抜けきれない東北の農村を舞台に、新しい考えを持つ嫁と姑の対立。古い因習に囚われた夫も、実家に戻った嫁の行動でやっと目を覚まし、妻を迎えに行く。 「妻と夫がけんかした話」34分 昭和32年(1957年) 一票差で村の予定者が落選してしまった。何事も順番や地域エゴで決めていた村の政治を変えたのが、新しい嫁の自由な投票だった。この一票が巻き起こす騒動が夫婦や村を変えることになった。 「愛情屋台」55分 昭和35年(1960年) 空襲で焼け出された母子と一緒に、通天閣の見える町で妻と二台の屋台を並べて商いをする気弱な夫。しっかりものの妻と義理の息子にも遠慮しながら、何とか亭主らしく、父親らしいことをしたいと願う焼鳥屋の物語。	
昭和30年代の日本・家族の幸福 親子編	劇画・記録 154分
＜対象＞ 一般 (桜映画社)	
「小さな町の小さな物語」39分 昭和35年(1960年) 中山道沿いの小さな町に薬局を開く夢を持つ薬剤師一家。妻には文句を言われながらも、人の良い亭主は死別した妹親子、弟の子どもたちと次々と引き取ってしまう。子供と夢に向かって明るく生きる家族。 「風光る日に」55分 昭和36年(1961年) (上映できません) 一年に一度山深い温泉宿に来るお客。同じ時、宿の中学生の娘に心のこもった誕生日プレゼントが毎年届く。娘が修学旅行で上京して、その送り主を訪ねると、その正体が明らかにされる。終戦の混乱が生んだ物語。 「現代家族」48分 昭和37年(1962年) (上映できません) 戦後の混乱期を懸命に生きた母子家庭に、娘の結婚話が影を落とし始めた。養子を迎え親と同居か、親は老人ホームかの選択を迫る…。家族制度の崩壊は家族にも終わりがあることを意味していた。 ※キズの影響により「小さな町の小さな物語」この1話のみ上映できます。	
昭和30年代の日本・家族の幸福 家族編	劇画・記録 144分
＜対象＞ 一般 (桜映画社)	
「お母さんの幸福」48分 昭和33年(1958年) 一家の大黒柱のお母さんが自宅で隔離入院生活を送ることに。これまでの生活は一変。長女は会社を休み、全員お母さんの療養に協力する生活を始める。母の病気が良くなるに従って、家族も成長していく。 「おじいさんはがんこ者」30分 昭和33年(1958年) 50年前の日本はまだ家長が大きな権限を握っていた。農家の食事は米ばかりをどっさり食べて、結果栄養不足による病気にさらされていた。がんこなおじいさんにバランス良い食事を摂るように説得していく。 「長男」56分 昭和36年(1961年) 農家の主として一家を支える長男とその家族の物語。近代的な酪農経営で村を豊かにしようと努力する兄。妹は町の男との結婚をめぐり、その人柄に悩む。全国的に過疎化や離農が進行する中、農業で生きる努力を描く。	